

## JST 研究開発戦略センター

には、足元の需給だけでなく、将来の産業構造や部素材のサプライチェーン全体を視野に入れる必要がある。その中核となるのが、使

用済み製品から回収した金属を再び投入する「資源循環」である。実際、国内で生じる廃棄物に含まれる希少金属の濃度が、天然鉱石

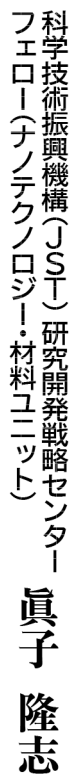
より100倍以上高い例もあり、廃棄物を資源として活用できれば、資源安定供給に貢献可能である。

政府の日本成長戦略本部が発表した戦略17分野の官民投資ロード

在せず、他の金属を生  
産する際の副産物とし  
て製錬を再強化

製鍊を再強化  
希少資源の安定確保

鉛、アルミニウムなどのベースメタル、金や銀などの貴金属、そして、生産量は少ないが



東京大学大学院工学系研究科修士卒。電機メーカーにおいて、酸化物材料、携帯燃料電池、半導体実装などの研究開発に従事。19年から現職、ナノテクノロジ―・材料分野の研究開発戦略立案を担当。博士（工学）、技術士（応用理学）。

筆者作成

(金曜日に掲載)